

持続可能な社会のための 科学と技術に関する国際会議2020

International Conference on Science and Technology for Sustainability

**グローバル時代の包摂を考える
—COVID-19後の持続可能な社会—**
“Social Inclusion in the Global Era” -Sustainable post-COVID-19 Society-

グローバル時代が前提とした人とモノの移動が、新型コロナウイルスによって大きく制限された今、地球レベルでの持続可能性や包摂についての議論がさらに重要となってきている。本会議では、コロナ危機後の「ニューノーマル」におけるCO2削減の革新的変化など、持続可能で包摂的な社会を可能とする未来のかたちを展望する。

会期：2020年9月3日(木)～4日(金)
参加方法：オンライン
定員：500名(参加費無料・要事前登録)
言語：英語(後日、日本語字幕動画を公開)
主催：日本学術会議
共催：一般社団法人日本社会学会
後援：国際学術会議(ISC)、国連広報センター
公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)、国際社会学会(ISA)

要事前登録

詳細・お申込みは日本学術会議ホームページをご覧ください。

<http://www.sci.go.jp/ja/int/kaisai/jizoku2020/ja/index.html>

お問い合わせ先：

日本学術会議事務局国際業務担当

<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0120.html>

右のQRコードを読み取ると、
直接参加登録ページが表示できます。⇒



DAY1: 9月3日『アジアの挑戦と日本の役割』			
14:00	開会挨拶	山極 壽一	日本学術会議会長、京都大学総長
14:05	趣旨説明	白波瀬 佐和子	東京大学大学院人文社会系研究科教授
14:10	ショートスピーチ1	大沢 真理	東京大学名誉教授
14:25	ショートスピーチ2	リーナ・スリバスタバ	国際応用システム分析研究所(IIASA)副所長
14:40	ショートスピーチ3	臼井 恵美子	一橋大学経済研究所教授
14:55 ～ 16:00	ディスカッション	白波瀬 佐和子 (モデレーター)	東京大学大学院人文社会系研究科教授
		大沢 真理	東京大学名誉教授
		リーナ・スリバスタバ	国際応用システム分析研究所(IIASA)副所長
		臼井 恵美子 町村 敬志	一橋大学経済研究所教授 一橋大学大学院社会学研究科特任教授、 日本社会学会会長

DAY2: 9月4日『地球規模の挑戦と学術の役割』			
21:00	趣旨説明	白波瀬 佐和子	東京大学大学院人文社会系研究科教授
21:05	ショートスピーチ4	ダヤ・レディ	国際学術会議(ISC)会長
21:20	ショートスピーチ5	エリサ・ライス	国際学術会議(ISC)副会長
21:35	ショートスピーチ6	マーティン・コーリー	プレーメン国際大学院社会科学研究所 特別プレーメン教授、欧州大学院名誉教授
21:50 ～ 22:55	ディスカッション	白波瀬 佐和子 (モデレーター)	東京大学大学院人文社会系研究科教授
		ダヤ・レディ	国際学術会議(ISC)会長
		エリサ・ライス	国際学術会議(ISC)副会長
		マーティン・コーリー	プレーメン国際大学院社会科学研究所 特別プレーメン教授、欧州大学院名誉教授
22:55	閉会挨拶	武内 和彦	日本学術会議副会長、 公益財団法人地球環境戦略研究機関理事長
			日本学術会議副会長、 公益財団法人地球環境戦略研究機関理事長

※プログラム・出席者ともに変更になる可能性があります。

※当日は視聴者より英語によるご質問を受け付けますが、会議時間の制約上、全てのご質問にお答えができないことを予めご了承ください。

